

情報提供日：令和7年2月5日

平成9年以来、27年ぶりの快挙！市制施行70周年にあわせた特集紙面で県内トップ！ 県広報コンクールで広報龍ヶ崎『りゅうほー』が特選受賞！

このたび、「令和6年茨城県広報コンクール」(主催：茨城県広報研究会)広報紙部門において、龍ヶ崎市広報紙である広報龍ヶ崎『りゅうほー』が県内トップとなる“特選”に選定されましたので、お知らせします。

自治体広報の甲子園ともいわれる「全国広報コンクール」への茨城県推薦作品の選考も兼ねる本コンクールで、**本市が特選を受賞したのは、平成9年以来、27年ぶりの快挙です。**

今回、受賞作品となったのは、『りゅうほー』令和6年10月前半号。「つないだ時を未来へ」をテーマとした市制施行70周年の記念イヤーに、広報ができることを考える中で「私たちが作っている広報紙の歴史、制作過程をどれくらいの人知っているのだろうか」という疑問がきっかけで生まれた特集記事です。

記事では、『「広報龍ヶ崎」がこの街にあり続ける理由』と題し、本市の広報紙の歴史や過去の気になる記事、そして、広報紙が配布されるまでの過程を特集しました。

特に意識したのは、読者が「初めて知った」「そうだったんだ」と感じ、龍ヶ崎を誇りに思ってもらえるような仕掛けを複数作ることでした。

今後、受賞した作品は、令和7年全国広報コンクール(日本広報協会主催)に推薦される予定です。
なお、県広報コンクールにおける審査員コメントは、茨城県公式ホームページに掲載されています。

掲載リンク https://www.pref.ibaraki.jp/koho/koho/ibaraki-miryokuhasshin/kohocontest/r6contest_results.html



受賞を受けての担当者コメント

今回の受賞は、市民をはじめとした読者の皆さま、印刷、配送、点訳や朗読、広報ボランティア、そして、歴代広報担当職員といった、これまで広報龍ヶ崎に携わってきた方々が、それぞれの想いが詰まったバトンをつないできたからこそだと感じています。

制作の中で、編集側の視点でも発見がありました。歴代広報紙を読み込むと、時代とともに、広報紙の役割やニーズが変わり、紙面構成の変化もみられ、変わることの大切さを感じました。

一方、「市民目線を常に」ということや、紙面を通じ、街を繋ぐ、誇りに感じる大切なツールであることは変わらず、広報紙が果たす重責を感じたところです。

今回の受賞を励みに『りゅうほー』は、デジタル化が進む中で変化しつつも変わらない役割を担うため、龍ヶ崎の歩み、一人ひとりの表情をこれからも記し続けます。

担当課

龍ヶ崎市 総合政策部 秘書広聴課 広報・プロモーショングループ
担当者：関口(せきぐち)
連絡先：0297-60-1511(直通)